

フランス・グリニー

Inès Lakehal

この夏、私は広島に行き、IYCPFに参加する機会に恵まれました。私の街の若者代表として日本に行けて、非常に幸せでした。

私が初めて日本に着いた時、日本文化、特に平和的な文化が大好きになりました。広島空港では、非常に愛らしい組織のメンバーの皆さんに出迎えてもらい、彼らをより良く知るチャンスとなりました。



初日から、私は参加者全員と一緒に平和を作り上げていく意欲を感じました。そこで学んだことは、非常に貴重な教訓となりました。まず、私たちは、すべての活動(ホームステイ、レストラン、お寺…)などを通し、日本文化について学びました。そして、他の国から来た参加者の文化も、彼らと話をするうちに学ぶことができました。

文化の違いがあっても、世界の若者たちはすべて同じで、同じものを求めていると理解できました。それは、戦争や汚染のない、より良い世界の未来です。私が会議で学んだことは、他の国の人口についてメディアで聞くことは、すべて間違いで、私たち全員、単に世界の住民だということでした。また、同じ過ちをしないため、歴史に耳を傾けることが必要(それが記憶の意義です)ということも学びました。また、平和にたどり着くには長いプロセスが必要であり、いくら時間がかかっても、くじけてはいけないということを学びました。グループ活動をする際も、とても難しく感じることもありましたが、平和を作り上げるためのチームとして活動する必要性を理解できました。

広島で、とても素晴らしい友人を作ることができ、できるだけ連絡を取り合っています!今でも、私のチームメンバーとは沢山やりとりをしており、最近、アン(ホームステイのホスト)にパリで会うことができ、街を案内することができました!

この旅の後、私はフランスのいくつかの新聞社「Le parisien」「Actu.fr」からインタビューをされ、私たちの平和メッセージを広める機会が与えられました。私は現在、平和推進のための様々な活動について私の街や学校と話し合いをしています。例えば、他の国と共通のカメラで、それぞれの都市のすべての人が平和への願いを他の国の人と一緒に表明したり、ソーシャル・メディアで、ピース・チャレンジをしたり、様々な世代間で議論することなどです。

最後に、この会議は私の心を開いてくれ、私の平和を求める戦いを、この旅の前には想像もしなかったような形に変えてくれました。世界中のすべての人の善意で、私たちは平和を実現できると、私自身も確信しました。美しい広島は、私の心に残っています。私を歓迎してくれ、ありがとうございました。